



関越道寄居PAスマートIC完成予定図

問

櫻沢 さくらざわ

克幸 かつゆき
議員

寄居PAスマートIC整備事業と町の拠点づくりの進捗状況は

答 企業進出の受け皿となる産業団地等開発を検討中(町長)

問

税収が落ち込み、財源が一段と厳しさを増す中で、希望が持てる持続可能なまちづくりと各種事業を着実に実行するため、限られた財源を効率的に配分したと言われるが、「選択と集中」による、迅速な事業の実施が重要と考える。そこで何点が質問をしたい。

まず、寄居PAスマートICの進捗状況及び課題、深谷市・寄居町等の交渉について伺う。

町長

美里町方面へのアクセス道路については、現在、用地測量と用地買収の単価を決める土地評価

の作業を進めており、今年度用地買収を実施する予定で、総額2億5800万円の予算計上をした。深谷市・寄居町・

ネクスコ東日本が事業を実施する部分についても、今年度用地買収を実施予定で、足並みをそろえて取り組んでいる。

問

国・県への企業誘致、観光振興等の働きかけ、及びまちの活性化施策、対策等の進捗状況を伺う。

町長

新たな高速道路へのアクセス道路の整備により、企業立地の需要が高まるこの周辺地域において、需要の受け皿となる産業

団地等開発の可能性を検討しているが、課題も多くあり、関係機関と検討・調整中である。

問

まちの拠点づくりのため、6次産業化と地産地消拡大のための加工場の必要性があると思うが、見解を伺う。

町長

地域活性化に向けてた拠点づくりが重要であり、生産・直売・加工が行える6次産業施設等について外部専門家を招聘し、随時検討中である。また、特定地域再生事業及び6次産業の振興等各種施策を町民参画の

問

関越道やアクセス道路付近に美里町の観光案内や人を呼び込む施策の一つとして、宣伝看板等の設置効果を伺う。

町長

多くの人が訪れてくれる魅力あるまちづくりのため、人を呼び込むことは重要である。提唱された宣伝看板等を設置することとは、情報発信の手段として意義あるものと思うが、厳しい財政事情から検討したい。



今定例会での一般質問は6名。町のことについて活発な議論が交わされました。

問

田端恵美子議員

子ども安心カードの導入について

答 保健調査票を活用し児童の安全・安心を図っている(教育長)

問 町内の小中学校で病

気やけが、またはアレルギー症状が起きてしまつたとき、緊急搬送される際に学校と消防署が迅速に連携し緊急時に備える、子ども安心カードの導入が大切ではないかと考えます。緊急時、速やかに状況を提出することで早い段階での処置を行つてもらえることになり、子ども安心カードの導入が児童生徒の安心につながるものと考えます。

教育長 各学校では、保健調査票やアレルギー疾患管理指導願というカードを活用しており、その内容は、住所・氏名・生年月日・

いきいき対策の現状について

問 健康で生き生きとした活力のある健康長寿社会を目指すために、美里

町長 高齢者いきいき対策事業は、気軽に集まり、コミュニケーションを図る憩いの場として全行政区で実施し、運営は、区長さんなどが中心となっています。町からは地域包括支援センターの職員が出向き、健康体操などで筋力低下防止を図るなど、介護予防と健康づくりの普及啓発に努めています。

今後も行政区の自主性を第一に考え、高齢者が気軽に楽しく継続して参加できるよう、ボランティア等の地域力を生かした共助体制の中で、魅力ある健康づくりメニューを取り入れて支援を継続していきます。



美里中学校 体育大会

一般質問は、議員本人が要約しています。全文は、(会議録)または (パソコン) から見られます。

問

原田 敏夫議員

大雪による撤去費用の支払いについて

答 条件が整えば9月交付か(町長)

問 2月の大雪被害に遭

われた農家の人々も、5月に入り急速に施設の撤去・再建が進んでしましたが、この先の収穫までの間、収入が得られない農家に対して、撤去費用の支払いはいつごろになるのかお聞かせください。

町長 農家の負担を極力軽減させるために、被災農業者向け経営体

育成支援事業により、農業施設の撤去・再建に向けた農家の取り組みを支援していきます。決定ではありませんが、「9月に全ての条件がそろった場合には交付をした」という話もあります。申

問 施設の一部再建、修繕及び農業用機械の取得・修理は、助成対象になるのかお聞かせください。

町長 被災農業者向け経営体育成支援事業では、大雪による被害を受けた農業用施設について、同等の機能・規模に回復させる再建・修繕は、それが一部分であっても対象としています。

農業用機械の取得・修理については、ハウスなどの施設と一体となっている暖房設備や冠水設備は、取得及び

東児玉小学校及び体育広場の樹木について

問 平成26年度予算に東

児玉小学校の樹木の伐採が予定されていますが、内容をお聞かせください。

教育長 かねてより子ども

を基本に、学校の管理運営を行っています。近年では、ゲ



議会の傍聴はどなたでもできます。議場の雰囲気を感じて体験しに来てくださいね♪





楽しい団らん（デイサービス）

問

中嶋 敬子議員
なかしま けいこ

美里町が持っている
資源を活かせないか

答 制限された中でまちをどうつくっていくか、議論を始めたい（町長）

象としています。

問 スローライフを求める方たちの呼び込み
に成功している地域の中には、行政が空き家を借り上げ、あつせんしているところがあります。また、格安の家賃で入れる公共住宅もあります。美里町では、そういった取り組みができませんか伺います。

町長

町では、防犯や生活環境、空き家の有効活用等について検討するため、平成18年度に町内の空き家軒数について調査をし、その結果、当時74軒の空き家を確認しています。この4月1日から定住促進奨励金の制度をスタートさせ、中古住宅の取得についても奨励金の対

象としています。
今後、町内宅建業者と連携しながら、空き家物件が中古住宅として市場に供給され、有効活用されるよう制度の周知に努めていきます。また、一般のアパートも含めた家賃の補助も一つの考えだと思えます。まずは空き家条例をつくり、適正な管理をしていただくという方向からスタートしていきたいと思えます。

問

里山等には下刈で出る草や竹、間伐材、もみ殻やわら、家畜の排泄物など、たくさん資源があります。各家庭等で行っている

町長

現在、畜産農家と稲作農家の連携や、わらはわら類を利用した有機農法等に活用されていますが、農家または栽培方法によって活用方法が異なるため、資源を活用した栽培講習会等を実現したいと思えます。
町としての取り組みは、今

回の地域再生計画の中で「町をどうするか」という部分が議論の中心に入ってくると思えます。制限された中で、まちをどうつくっていくかという議論を始めなければいけないと思います。ぜひこの中のがスタートラインになってくれるといいなと思っています。



問

角田 朝枝議員
つのだ あさえ

介護保険見直しで
お年寄りをどう守るのか！

答 近隣市町の動向も見ながら方法を考えていきたい（町長）

問

見直しをするたびに後退してきた介護保険ですが、町としてどういう対策を考えているのか。

①現在要支援1・2と認定され、介護保険予防給付を受ける人の8割以上はヘルパーなどの訪問介護・デイサービスなどの通所介護を利用してありますが、廃止するとしています。お年寄りがヘルパーの手を借りて1人で自立した生活ができてきたのがこの制度です。町の財政で十分なサービスを提供できるのでしょうか。ボランティアではやり切れるものではありません。
②介護保険の不足分を一般会計から入れて、保険料を軽減

町長

①要支援1・2については介護保険から外し、平成29年4月までに市町村が主体となる地域支援事業に移行することとしています。市町村によって格差があるというのは危惧しています。

②介護保険料については、低所得者の軽減を強化します。負担能力のある方には利用者負担を2割にすることをしています。

③施設入所についてはやむを得ない事情により、ホーム以外の生活が困難であると認められれば特例的に入所を認めるとしています。

問

保育園に3人そろって入園している場合は、第3子の保育料が無料になります。卒園するまで無料にできないでしょうか。

町長

約束はできませんが、少なくともそういう方向になっていくと思っています。





にぎわう町民祭

問

町民祭と合併記念・町政施行 記念事業は住民本位で実施を

笹井 均 議員
ささい ひとし

答 町民祭は基本的には今までどおりです（町長）

問

町長は、町民祭をにぎわいのある祭りにと、これまで町の各団体が行っていた祭りを町民祭にあわせて一斉に開催してきました。今年は合併記念・町制施行記念行事を町民祭の日に行うので、各団体ごとの取り組みになると聞きました。町民祭実行委員会と各団体との関係を明確にしないと混乱を来します。今後の町民祭の方向をお聞かせください。

町長

今年3村合併60周年等の記念の年です。合併式典は、町民祭の中で1時間半程度を考えていますが、合併記念事業はまだ

問

今年2月の大雪による被害は甚大なもの

雪害対策の進捗状況と継続できる農業と経済対策を

決まっています。昨年の検討協議の中で、駐車場が手狭な問題や運営関係者が複数の団体に加入しているため二斉開催では自分が加入している団体に参加できないので、分散開催を」との意見が出ていました。次回からは、本年度の町民祭の成果の検証を行い、その中で決定します。

町長

農業施設の被害状況は、鉄骨、パイプハウスが420棟、面積にして約8万7500平方メートル、農業用物置等が40棟で約5500平方メートルが倒壊しました。農作物は、被害面積約1300ヘクタールに

なりました。今、農業をめぐる環境は、耕作者の高齢化、後継者不足・資材の高騰・消費税の導入・引き上げ、TPP参加問題など、先行き不安に追い打ちをかける大雪の被害です。本町の雪害の復旧状況と復旧経費の見込み、安心安全のまちづくりを進める施策をお聞かせください。

わたり、キュウリやネギなどへの被害が発生し、被害施設の撤去費用として約4300万円、被害施設の復旧、再建費用として約6億4200万円を見込んでいます。

土地利用は企業誘致及び住宅地の確保は大変重要な課題です。集団的農用地の確保及び農業経営基盤の強化を図るため、国の施策を活用し農業の維持に取り組んでいます。

